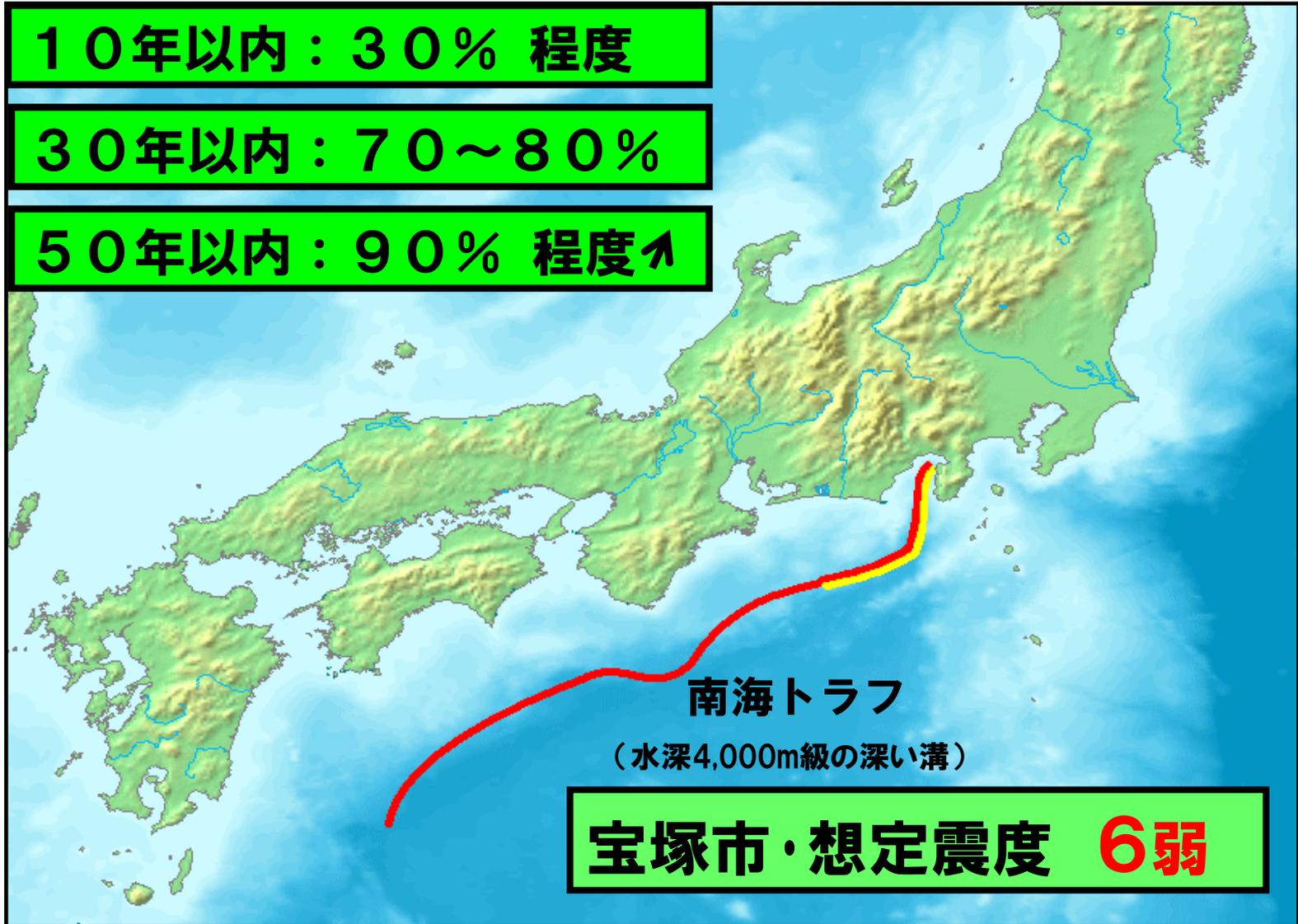


南海トラフ地震の発生確率

10年以内：30% 程度

30年以内：70~80%

50年以内：90% 程度↑



兵庫県の被害想定：宝塚市・死者2人

緊急地震速報の流れ（気象庁）

発表開始：平成19年（2007年）10月～

続報開始：平成30年（2018年）3月22日～



は しよきびどう
P波：初期微動

びょうそく やく
秒速 約7km

は しゅようどう
S波：主要動

びょうそく やく
秒速 約4km

しんど じゃくいじょう
震度5弱以上で

そくほう なが
速報を流します

しんど いじょう
震度4以上になる

ちいき し
地域に知らせる

Primary(最初の)

Secondary (二番目の)

しんげん はな
震源が70Km離れると、

やく びょう さ
約7.5秒の差

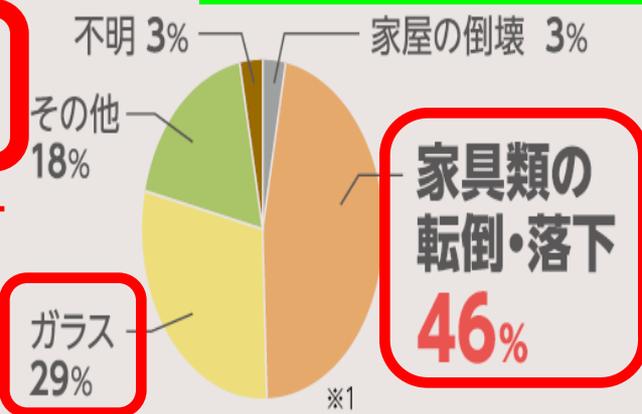
自宅や職場の家具等の転倒防止をしましょう



阪神淡路大震災

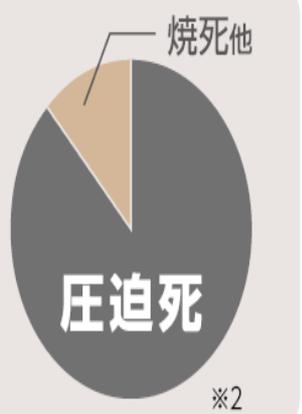
家具類の転倒防止がまず重要!

阪神・淡路大震災における怪我の原因は、家具類の転倒・落下による負傷が全体の50%近くを占めています。



圧迫死が全体の88%

阪神・淡路大震災の犠牲者のうち、88%が家屋・家具類等の倒壊による圧迫死とされています。耐震性のある住宅であっても揺れるため、備えは必要です。



家具転倒防止をしましょう



家具転倒防止をしましょう

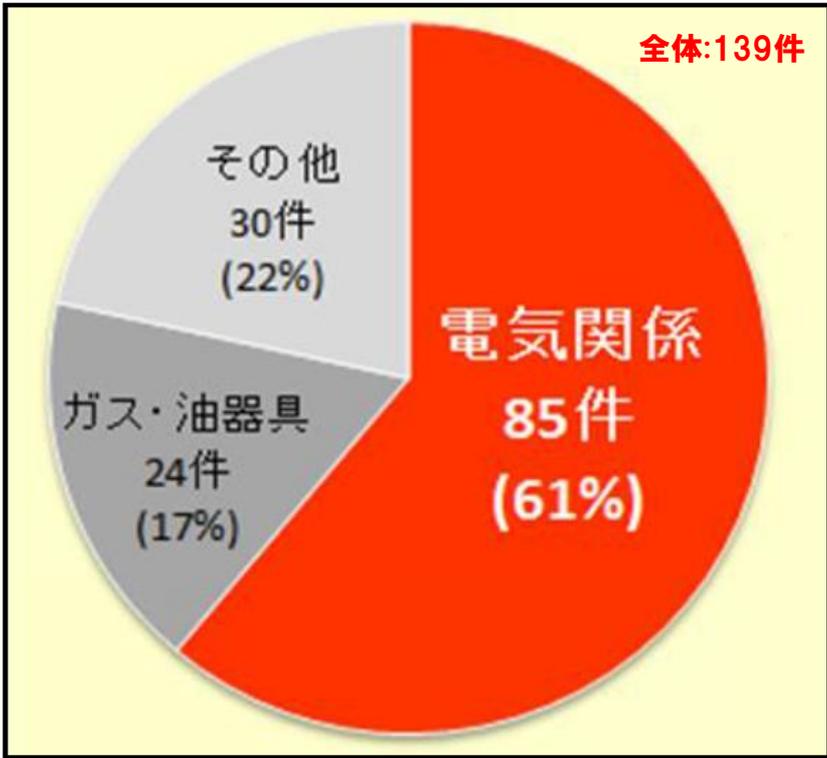


地震による電気火災の防止が大切です。

火災の原因

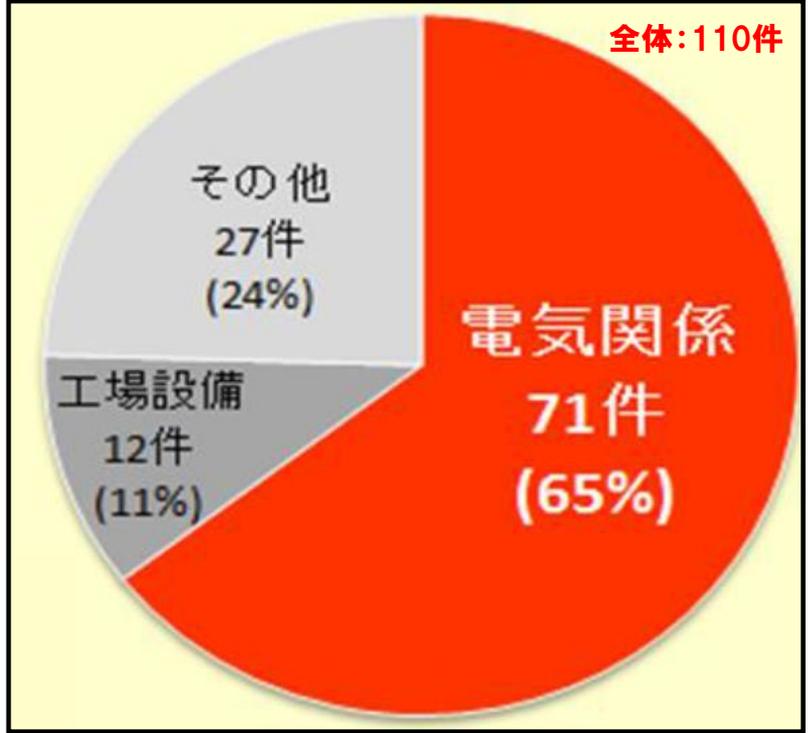
電気ストーブ、コンロ、トースター、ヒーター、カーペット、白熱灯、コンセント、電気配線、変圧器等

阪神淡路大震災（H7年:1995年）



原因判明: 139 / 全火災件数: 285

東日本大震災（H23年:2011年）

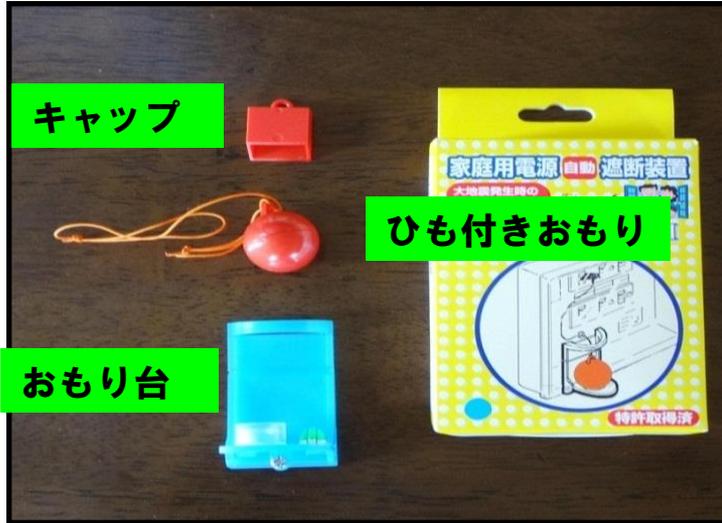


原因判明: 110 / 163 { 地震原因: 163 / 378
津波原因: 215 / 378

出典: 内閣府 (防災担当) 電気火災の発生抑制対策の検討と推進について」平成27年3月から

感震ブレーカーを設置しましょう

・一番は、避難や外出時にブレーカーを切っておくこと



震度5強～6弱で、おもりが台から落下してブレーカー・スイッチを切る。



震度4で点灯、停電でも点灯する。外せば懐中電灯：6時間連続点灯